

救急だより ピーポー



編集・発行／さつま町消防本部

〒895-1816 さつま町時吉 366 Tel 52-0119 Fax 53-0119
E-mail shobo@satsuma-net.jp
web http://www.satsuma-net.jp 発行 平成 21 年 8 月

新型インフルエンザ に対するさつま町消防本部の対応について

全国的に大流行している新型インフルエンザ。鹿児島県でも集団感染が確認されるなど、もはや対岸の火事ではすまない状況になっています。

さつま町消防本部では、活動マニュアルの作成や感染防護衣（※写真参照）の整備・備蓄（※現在、約 200 セット保有し追加予定あり）などの取り組みを行っています。

①救急体制をこれまで以上に強化します

これまでの救急に加え、新型インフルエンザに関する救急要請が増加することが予想されます。現在保有している救急車 3 台で対応できない場合は、消防車で搬送を行うことになります。

また、場合によっては下記のような「感染防護衣」を着装してからの出動になりますので、救急車の到着が通常より遅れる場合があります。

②搬送医療機関

新型インフルエンザ患者又は強く疑われる患者は、指定医療機関である「川内市医師会立市民病院」に搬送します。感染が拡大し指定医療機関が満床となった場合は、協力医療機関の薩摩郡医師会病院・済生会川内病院に搬送します。さらに爆発的に流行し 3 医療機関すべてが満床となった場合は、町内すべての医療機関が搬送対象となります。

③関係機関との連携

119 番通報時に新型インフルエンザが疑われる場合は、川薩保健所に設置されている「発熱相談センター」や、さつま町役場に設置されることになる相談窓口（川薩管内での患者発生により設置）と連絡を取りながら救急業務を行います。

④火災や救助発生時の対応

新型インフルエンザが流行していても、火災や救助出動は通常通り行います。

⑤その他の業務

避難訓練や救急講習、立ち入り検査などの業務は中止又は縮小し、救急業務の充実・強化や、火災・救助活動の維持のために人員を重点的に配置します。

※※お願い※※

- ◎ 新型インフルエンザが流行すると、救急需要が増加することが予想されます。緊急性が低いと思われる救急要請の自粛をお願いします。
- ◎ 119 番通報時に、発熱や咳・呼吸困難などのインフルエンザを疑わせる症状があった場合は、渡航歴や流行地域への旅行歴などの情報を聴取いたします。ご理解とご協力をお願いします。
- ◎ うがい・手洗いや咳エチケットなどを守り、感染防止に努めましょう。



感染防護衣

- ①：ゴーグル
- ②：N-95 マスク
- ③：全身防護服
- ④：ゴム手袋
- ⑤：シューズカバー



シリーズ

こんな症状があったら

すぐ救急車！

『脳卒中』編



「脳卒中」にはいくつかの種類がありますが、大きくは脳の血管がつまる「脳梗塞」と、脳の血管が破れて出血する「脳出血」や「くも膜下出血」に分けられます。

脳卒中の症状は様々ですが、共通している特徴は、突然生じることです。右のような症状の発生が「何時何分から」というように特定できます。

そこでこのような症状が突然起こった場合には脳卒中が疑われますので、すぐに病院での診察・治療が必要です。特に脳梗塞だった場合は、発症後3時間以内であれば非常に有効な治療を受けられることがありますので、「ちょっと様子を見よう。」は禁物です。すぐに救急車を呼んでください。

脳卒中によくみられる症状

- 片方の手足・顔半分のマヒ・しびれが起こる。(手足のみ、顔のみの場合もあります。)
- ロレツが回らない、言葉が出ない、他人の言うことが理解できない。
- 力はあるのに、立てない、歩けない、フラフラする。
- 片方の目が見えない、物が二つに見える、視野の半分が欠ける。
- 経験したことのない激しい頭痛がする。

薬剤投与認定救命士誕生

救急救命九州研修所での研修と、病院実習を修了した河野秀樹消防士長が、当本部5人目の薬剤投与ができる救急救命士として認定されました。

これからも救命率の向上に向けて計画的な育成に努めてまいります。

※薬剤投与とは？

心肺停止の傷病者に現場などで点滴をした後、アドレナリンという薬剤を注射できます。(※すべての傷病者に投与できるわけではありません。)これにより病院到着前の心拍再開率の向上が期待できます。



河野救急救命士

応急手当にご協力ください

消防署では救急車の出動後、重症と思われる次のような時などに、通報者等へ折り返し電話して口頭指導を行い、応急手当の協力をお願いしています。

- 傷病者が心肺停止状態と疑われるとき
- 負傷したことにより大量出血が疑われるとき
- 気道に異物が詰まり呼吸困難を訴えているとき
- 身体の広範囲又は重篤な熱傷を負っていると疑われるとき

なおこの電話による口頭指導は、救急車を出動させてから行っています。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



熱中症 警報継続中

熱中症は、きちんと対応することによって予防することができます。次の点に注意しましょう。

- ◎帽子や涼しい服装などで暑さを避けましょう。
- ◎喉の渇きを感じる前に、こまめに水分を補給しましょう。
- ◎自分の体調を把握し、体調が悪いときには無理をしないようにしましょう。

救急医療町民講座開催

日時：9月8日(火) 14時から
場所：宮之城ひまわり館
内容：医師による講演・心肺蘇生法実技など

町内の AED ぞくぞく増加中

現在、町内のすべての小・中学校に AED (自動体外式除細動器) が配置されるなど、さつま町内の AED 設置数が増加しています。ぜひ普通救命講習を受講して、心肺蘇生法と AED の使い方をマスターし、いざというときに備えておきましょう。

さつま町 AED

